

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 6月11日

【評価実施概要】

事業所番号	270301625		
法人名	有限会社テル・サウスウインド		
事業所名	グループホーム テル・サウスウインド		
所在地 (電話番号)	〒031-0841 青森県八戸市鮫町字冷水平2の1 (電話) 0178-39-3981		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 3月 17日	評価確定日	平成 20年 6月 11日

【情報提供票より】(平成 19年 12月 17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 1月 16日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 8人, 非常勤 4人, 常勤換算	11人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円
敷 金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(12月 17日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	1 名	要介護4	2 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	81.3 歳	最低	68 歳
		最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	美保野病院、きむらクリニック、きどクリニック
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>八戸市郊外に位置し、近くには海(太平洋)が、又向かいには中学校があるのかな環境にある。民家を一部改築(エレベーターの設置等)して利用しており、家に居るような雰囲気づくりをしているグループホームである。又、地域とのコミュニケーションを図り認知症ケアの推進に積極的に取り組まれている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回、介護記録の方法と 研修計画の策定について課題となった。 については、ミーティングや会議等において話し合われた意見を取り入れ介護計画が作成されており、又介護計画の目標に対し、日々の生活状況を記したケース記録等を作成している。 は、職員のレベルに応じ、研修のカリキュラムが計画され実施されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価に対する意義を職員全員が理解する為、会議等にて話し合いがなされており、全員で取り組まれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議で、ご家族や町内会、民生委員と意見交換を行っており、地域住民と日常的交流を図りつつ、認知症ケアについて理解を深める為、町内会等の集会に参加している。事業所は道路に面した場所にあり、向いには中学校がある為、敷地内において無断駐車等があり、これに対するリスクについて地域住民に呼びかけている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>ご家族等より寄せられたご意見がある場合は、職員を交え話し合い検討している。また定期的に入居者の様子や体調等については、ご家族に対し手紙にて報告がなされている。その他面会時や電話による連絡がなされている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の住民と日常的に連携が図れるよう町内会の集会等に参加し、認知症ケアについて説明をすると共に、クリーン作戦など地域活動等へ参加し、交流が図られている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を掲げ、入居者がその地域の中で自分らしく生活が出来る様支援がされている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議やミーティングのときなど、理念について確認すると共に、理念に基づいたサービスに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	グループホーム(地域密着型介護サービス)としての意義を捉え地域住民と日常的に交流が図られるよう町内会等に参加し、理念を伝えていく機会を設けられている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の意義及び目的を職員に伝えつつ、職員全員で自己評価を実施し、取り組みについて確認し、サービスの向上に向け改善に結びつけている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において、取り上げられた内容についてご家族様や町内会役員、民生委員等と意見交換を行い、サービス向上への取り組みがなされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の介護保険課の担当者に対し、現場における実情やケアサービスに対する取り組みなどを伝え、これらの課題解決に向けた協議がなされている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>勉強会等を通じ、権利擁護に対する理解を深めるよう取り組みがなされている。又、必要に応じて市担当者を確認をし、利用者の支援に結び付けている。</p>		<p>今後は、定期的に権利擁護に対する内部研修を実施し、また外部研修等に参加し、より権利擁護に対する理解を深めていく事が望まれる。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内・外部研修等に参加し学ぶ機会を持ち、高齢者への虐待について理解を深めると共に、虐待防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時においては、重要事項説明書等を用い、ご家族に対し丁寧に説明を行っており、またご家族様からは理解をして頂いている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>入居者の様子や健康状態など、手紙などで定期的に報告し、また電話連絡や面会時等にも随時、報告がなされている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族からの苦情や意見など、面会や電話連絡、手紙等にて問いかけ、意見を出して頂くよう配慮し、出された意見等はケアサービスの向上に繋がるようこれらを受け止め反映されるよう努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者への影響がないよう利用者に対し紹介をし、十分に説明を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のスキルアップは、介護サービスにおいて重要な事項と考え、職員に対し段階を踏まえた教育を実施している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同市内の同業者と交流を図ると共に、現状における課題を話し合われたり、研修を実施したりして、サービスの質の向上に向けた取り組みがなされている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員は出来るだけ利用者とコミュニケーションを図り、なじみの関係になるよう努めている。又、他の利用者と段階的に交流を図り不安を与えないよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、入居者の思いなどを知ること努めている。また、ともに生活する一人として、入居者の得意な料理を教わったり、一緒に食事を楽しんだりして共に支えあえる関係づくりに取り組んでいる。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で様子を見ながら、本人の希望や意向の把握に努め、家族を交えて検討されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の思いや意見を聞き、他事業所と情報交換を行い、介護計画の作成に生かしている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の評価、見直しをするとともに、本人、家族の要望に応じ、現状に即した介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族のその時々々の要望や必要な支援に応じて、柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望を受け入れ、適切な医療を受けられるように支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、家族の意向を踏まえ、医療機関と連携を取りながら取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりにあわせ耳元でさりげなく声掛けするなど、入居者のプライバシーを損ねない対応に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望する時間に入浴を楽しんで頂いたり、食事は入居者の希望を取り入れたりして、入居者と職員が共に楽しめるように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の食の好みや旬の食材を取り入れている。また、食事の準備や後片付けを職員と一緒に取り組んでいる。</p>		<p>可能な範囲の中で味付けやトッピングなどにて選択できるメニューへの取り組みに期待したい。</p>
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴の時間帯は、希望にあわせて入浴を楽しめるように支援している。</p>		<p>時間帯だけではなく、入浴したい日に入浴できるような取り組みに期待したい。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事作りや趣味活動など、一人ひとりの経験や知恵を発揮できる役割や楽しみを提供している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>短時間の外出や庭での作業・余暇活動を行い、気分転換が出来るよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	勉強会を実施し、職員の認識共有を図っている。		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	消防署に相談し助言をもらいながら、安全に避難できるよう毎月マニュアルにそって避難訓練を実施している。		地域住民の協力を得て、避難訓練を合同で行うことを期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	カロリーの過不足や水分不足が起こらないように、チェック表に記載すると共に、ミーティング等にて申し送りをするなど入居者一人ひとりの情報を職員が共有している。		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	事業所内で起こり得る感染症についてマニュアルを作成し、職員全員で学習し、予防や対策に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の利用者にとって居心地のよい場所、安心感のある場所を提供し、季節感を取り入れる工夫をしている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好みや馴染みの物を生活スタイルに合わせて用意されている。		

 は、重点項目。